



ゴロスケ報々



「どれがなに？ホントは小さい花たち」

●ハチよけ用木酢液スプレーの使い方●

事務局からのお知らせ

今号の5ページの「スズメバチの生態と安全管理 報告」で報告したお話の中で触れられた興味深い話題が、スズメバチの被害を防ぐための炭焼きの副産物である「木酢液」の効果です。

使い方は、木酢液を適度に薄めて（4倍程度）、スプレーなどで空中に噴霧します。

スズメバチはおそらくは山火事などによる木が焼ける臭いに反応して、巣に戻る習性があるそうです。

たとえば大勢で道を歩いている時にスズメバチに出くわした、あるいは活動場所にスズメバチが集まってきた、という場合、一時的にスズメバチを遠ざけて、その間に通り過ぎたり場所を変えたりというような場合に効果的なようです。

いわゆる殺虫剤のような使い方はできません。刺されてからの対応ではなく、またハチを殺すわけでもないで、やさしい安全対策だと言えます。

このお話を伺って、友の会では、木酢液スプレーを用意してゴロスケ館などに常備することを考えています。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●3月定例会報告●

日時 2014.3.16 (日) 13:00~15:00

出席者 山口、中里、村松(議長)、片岡、青木、関根(書記)、落合、高柳、大越、大浦、篠原、藤田、高橋、吉田、古南R

議事

1. 各PJ、調査グループの活動報告をしました。
2. 各PJ、調査グループの4月下旬~6月の活動予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・午前中の理事会の報告をしました。
 - ・ゴロ報印刷の手順を確認しました。
 - ・新年度用の入会案内資料について、確認しました。
 - ・ゴロ報4月号の内容と担当者を決めました。
5. センターより
 - ・14年度行事予定の案が提示されました。
 - ・13年度中の園内の工事が、降雪のためやや遅れています。

次回定例会は
5月18日(日)13:00~
研修室にて
※定例会は会員の皆様どなたでも参加できます。

●3月理事会報告●

日時 2014年3月16日(日)9:38~12:20

出席者 青木、大越、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、中塚、村松、山口(議長)、吉田、古南R(欠席:秋元、漆原)

議事

- 1 定期総会準備
 - ・議案書(報告・決算・計画・予算・役員分担案)を確認しました。
 - ・子ども向け行事のシリーズ化は準備の都合で2015年度から(2014年度は単発行事)とします。
 - ・チェーンソー保険は2014年度はスポーツ安全保険とし、対象人数を増やし掛け金を縮減します。
- 2 新入会員フォローについて
 - ・次回以降検討します。
 - ・PJマネージャーが預かった入会書類の保管・名簿管理担当への連絡、PJメンバーリストの提出・更新について再確認しました。
- 3 早期入会促進策について
 - ・1~3月に会費振込の新入会員の会費免除(翌年度分へ充当)について、次回会費細則を改定します。
- 4 安全管理について
 - ・スズメバチ生態講習で木酢液スプレーの効果が紹介されたため、ごろすけ館へ常備し試用します。
- 5 その他
 - ・会報Web化について、試行結果が概ね良好のため次号から2011以降のバックナンバー含め閲覧可能とします。
 - ・上郷東連合町内会との連携について、森の家を使用しないため行事への参加協力はなくなりましたが、引き続きセンターを通じて広報面で連携していきます。
 - ・次年度センター事業について説明があり、日程重複等を確認しました。
 - ・谷戸のボランティア活動冊子と講演録刊行(瀬上さとやまもりの会)の紹介がありました。
 - ・レンジャーの異動紹介がありました。

＜次回理事会開催のお知らせ＞

日時 5月18日(日)

9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 理事役割分担
 - 2 新入会員フォローについて
 - 3 早期入会促進策(会費細則改定)について
 - 4 利用推進会議について
 - 5 安全管理について
 - 6 その他

日 時 2014年4月6日(日) 10:00~11:00

場 所 自然観察センター研修室 出席者16名

議 案 2013年度事業報告・決算報告、2014年度事業計画・予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に吉田賢一さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。詳しくはごろすけ館備え付けの総会資料をご活用ください。2013年度はごろすけ館を活用した情報発信や保全管理計画を活かす活動を行いました。2014年度も引き続き中期計画(2013-15)の実行にご協力のごほどよろしくお願い致します。

<2013年度報告>(人数は参加延べ人数)

友の会行事	21項目・169回(会員605人、一般1,016人)
センター行事支援	3項目・13回(会員60人、一般942人)
ネットワーク活動	3項目・5回(125人)
会議等	5項目・19回(180人)
行事活動報告合計	32項目・206回(会員970人、一般1,958人)
PJ活動	30項目・374回(2,411人)
事務局内調査等活動	8項目・56回(180人)
事務局事務	4項目・42回(95人)
PJ活動報告合計	42項目・472回(2,686人)

<2014年度計画>

行事計画 37項目・218回

PJ活動計画 45項目・437回

<理事・監事選任>

PJ枠 : 秋元・大浦・落合・志釜・中里・中塚・村松・吉田

事務局枠 : 青木・漆原・片岡・関根

会員公募枠 : 山口

監事 : 橋詰・水上

<センターより>

レンジャー異動・挨拶、保全管理計画の活用などについて説明がありました。

●電子版ゴロ報の受け取り方●

今年度からゴロスケ報々は電子版(PDF)でも配信開始しました。

電子版を希望された方は下記HPからダウンロードしてください。

そのまま閲覧できない方もいるようですので、ダウンロードしてから閲覧していただいたほうが確実です。(PDFはAdobe社の製品です。AdobeReaderもしくはPDFを閲覧できるソフトを各自準備してください。)

HP : <http://zfc.yamagomori.com/entrance.html>

パスワードは「8947474」です。

以下環境で閲覧を確認しています。

WindowsPC

・Internet Explorer 8, 11

・Firefox

・Google Chrome

タブレット端末

・Android

・iPad touch

ご質問などありましたら、事務局宛にメールをください。

yms_jimu@yahoo.co.jp

事務局 漆原

飲み水の話

前回 2012 年 12 月に「飲用に適した水とはどういうものかについてお話しする機会は別に譲る」と書いてしまいました。その時は別の機会がまた巡ってくるとは本当に思っておりませんでしたし、万が一巡ってきたとしても何年も先できっと皆さん忘れておられるだろうと考えていました。ところが、何の拍子か機会が巡ってきました。1 年半、皆さんお忘れと考えるには微妙な期間ですが、かといって内容的に皆さん期待しているとも考えにくい、さてどうしたものかと思案の末、時間もないのでこのお題で書くこととしました。

皆さん実際にはあまり考えたことはないかもしれませんが、目の前にある水が飲めるかどうか判断する場合、色や濁りがないことを目で確認し、臭いに異常がないか、そして口に含んだ時味がおかしくないかを確かめると思います。言い換えれば、無色透明、無味無臭であることを確かめると思います。仮に水道水が色のついた水（例えそれが綺麗なピンク色であったとしても）、臭いのする水（例えそれが心地よい花の香りであったとしても）、味がする水（例えそれがほんのり甘い味であったとしても）だった場合、きっと皆さんは水道局に電話するはずです。そして必ずそれはクレームのはずです。そう、無色透明、無味無臭、これは飲料水として絶対条件です。

ところで、皆さんの家庭に送られている水道水の原料（水道では原水と言います）は、十中八九河川か湖沼の水です。水道は、浄水場で原水の色と濁りを取り、消毒という処理して皆さんのご家庭まで飲料水として届けます。もし未消毒の水を飲んだ場合、お腹をこわす方が多数いらっしゃると思います。これは例え無色透明、無味無臭の水であったとしても、原水には人に病気を引き起こす細菌やウイルス（病原菌と言った方が一般的でしょうか？）が存在しているからです。そのため水道では消毒という工程が不可欠です。水道ではこの消毒に塩素を使っています。この塩素、諸刃の剣で消毒には絶大な効果を発揮するのですが、いわゆるカルキ臭や詳しい方は耳にした事があると思います。トリハロメタン等の原因です。つまり、カルキ臭やトリハロメタン等が引き起こすリスクよりも、感染症の広範な拡大を阻止する公衆衛生的な効果を優先しているのが実情です。

カルキ臭やトリハロメタン等の生成のもう一つの原因として河川、湖沼の汚濁があります。河川、湖沼への汚濁による負荷を減らすことは、ひいてはトリハロメタン等の生成を抑えることになります。河川、湖沼への汚濁による負荷の大きな要因は、皆さんの生活排水です。「生活排水を見直して川をきれいにしよう！」しばしば耳にするフレーズですが、実は回り回って皆さんの健康にも繋がっている・・・、まあ、そんなことを言いたかったのですが、ちょっと具体性に欠けましたかね。反省しています。

By Minoru Aoki

●森を守る作業体験会 報告●

2014年1月25日 除伐作業

天候晴れ。参加者は、おーさんと少年、男性2人。合計4人。

クヌギ林のイロハ紅葉を除伐した。小学3年生の少年はだんだんのごぎりの使い方がうまくなった。他の人たちも初めてののごぎりで、木を切って満足の様子であった。冬のクヌギ林は、葉がすっかりおちて、すがすがしい。作業後、炭小屋で味噌汁と昼食を楽しみ、体験会は終了した。

2014年2月22日 炭焼き作業

天候晴れ。朝方の温度は9度と寒い。参加者は男性2名、女性2名、2歳と4歳の子供連れの夫婦、の合計8名。9時に口火着火するもなかなか窯の温度あがらず。くち焚を続ける。子供が退屈してきたので、バームクーヘン焼きを始め、またシイタケ狩りも行った。

昼はシイタケ・大根入りの味噌汁を楽しんでもらい、午後はコースター作りもやってもらった。皆さん満足の様子であった。

●<定例活動の報告> 森の案内人・ハンミョウの会●

ハンミョウの会の発足時からのメンバーであった大越さん（おーさん）が突然亡くなってから既に2ヶ月が過ぎました。

直接にお見送りの機会がなかったこともあって、まだ「季節の森を歩こう」（ガイドウォーク）のある第一日曜の朝、あれ、今朝は「おーさん」が遅いなあ、とってしまいました。

下見の開始時には、必ず観察センターの前でベストを着て双眼鏡をかけて待っていてくれるのが当たり前で、急に現れてくれるように思えてなりません。

2月のガイドウォークの時には、常連で参加してくれる「おーさん」ファンの来園者たちにも、前月の1月には案内役をしてくれたばかりの彼の訃報をお知らせすることになってしまいました。

「おーさん」の持ち味は、おだやかな人柄とガイドとしてカバーする範囲の広さでした。

彼は野鳥の会の指導員でもあるので、鳥が専門というイメージもありましたが、季節の植物や虫にも深い関心を持っていて、しかも生真面目にも見えるほどしっかりとデータを記録して、下見の素材などもよく下調べをしておられました。また横浜市の小学生の体験学習のスタッフもしておられたので、見せ方や語り方にも工夫があって、ガイドの対象が大人であれ子供たちであれ、どんな来園者でも安心してお任せできる方でした。

こんなことなら、一緒にもっと焼酎を飲みながら、いろいろ教えてもらうんだっとな、というのは詮無いことですが、くやしくてなりません。

せめて、ガイドウォークに参加される来園者たちに、生きものの生命のつながりを更にしっかり伝えていきたいと考えています。

ご冥福をお祈りします。

担当 中塚（森の案内人・ハンミョウの会）

友の会活動報告

●スズメバチの生態と安全管理 報告●

活動報告 3/15 スズメバチ講習会

3月15日(土)の10時~12時、ハンミョウの会の企画で「森の生きもの講習会」を行いました。この講習会はハンミョウの会のガイドウォークのための勉強会ですが、毎年、友の会の会員には自由に参加をいただいております。今回も22名の参加者がありました。

テーマは「スズメバチの生態と安全管理」。生きものと合わせて、環境保全活動における安全管理の観点も意識しました。

講師は、横浜市保土ヶ谷区で活動する「カーリットの森を守る市民の会」の代表でありスズメバチの研究をしておられる中村雅雄さん。

日本にいるスズメバチの生活史や生態を中心に、この生きものを理解することで、危険な生きものというとならえ方だけでなく、人と共生しながら安全なおつきあいができるというお話を伺いました。

特に安全管理という意味では、スズメバチが攻撃の対象にするのは、「動くもの」「黒いもの」「毛髪」で、それに人が大勢歩いたり走ったりする振動にも注意が必要との指摘がありました。

●はじめてのちいさなしぜんかんさつ会 報告●

3月23日、晴れ、参加者は3~9歳の子供と保護者で、午前17名、午後14名(応募は108名も!)、スタッフ3名で実施しました。キブシの花の味見をしたり、コブシの花の匂いをかいだりしながら、トンボ池までお散歩しました。トンボ池では、卵から出たばかりのオタマジャクシを見た後、少し大きくなったヤマアカガエルのオタマジャクシを手に乗せました。初めて自分の手で捕まえた子や、初めて手に乗せてみた子も。今年は全員が、怖がらずに、手に乗せられました。オタマジャクシ、何してるのかな?と聞くと、「おでかけしてる」と答えた子がいます。みんなが池に手を入れたので、オタマジャクシたちは、そろそろと、向こうに向かって大移動。確かに、おでかけしてるみたいでした。お母さんがエルを探して、モグラ塚を掘ってみたり、クヌギの林の落ち葉の下を覗いてみたり……。ヤマアカガエルには、水辺だけではなく、林も大事、と伝えました。最後に描いた絵を、家で絵本にしてもらおうことにしました。(ふじた)

友の会行事のお知らせ

●森を守る作業体験「子供と遊ぼう会」●

子供と遊ぼう会

雑木林ファンクラブでは以下のように会を開催します。

日時 : 5月17日(土曜日) 9時から14時まで

場所 : 自然観察の森 炭小屋

催し物 : 炭焼き、火起こし、シイタケ菌の植え付け、コースター作り

集合場所 : 9時センター前

対象者 : 友の会会員 および 一般者 ※小学生以下の子供は保護者同伴のこと

持ち物 : 森で遊べるような服装、軍手、昼食(昼食時、味噌汁を出します)

応募方法 : 往復はがきにて 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会 ZFC イベント係りあて

または FAX 045-894-8892

または 電話 045-894-7474 まで

雨天時 : 中止します。ただし炭焼きは実施します。

担当 雑木林ファンクラブ

友の会行事のお知らせ

●トンボ池を掘ろう●

トンボ池は園内で見られるトンボ達の産卵場所として貴重ですが、放置すると、泥の流入、草の繁茂で埋もれてしまいます。

皆の力で池の泥上げと除草作業を行い、トンボ池をトンボの産卵に適した環境に保全しましょう。

1. 対象：会員（中学生以上限定）事前申し込みは不要です
2. 実施日時：平成26年5月11日（日）9時10分
3. 集合場所：ゴロスケ館前
4. 持ち物：汚れて良い服装・帽子・飲み物・軍手・可能な方は弁当

担当 カワセミファンクラブ

2014年度定例行事のお知らせ

●定点カメラで動物調査●

今年も5月から始まります！ 森の中に設置したカメラがとらえた動物の写真、何が写っているかをチェック！ タヌキや子ウサギたちの姿を記録し、動物相の変化を調べています。昨年、カメラも最新のデジカメになり、写真が鮮明になりました。見逃しが無いよう、多くの目で写真をチェックしたいと思っています。動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。動物たちの世界、のぞきに來ませんか？

活動日

- ・5～10月：第2土曜日 9：30～
現地調査（カメラの設置やデータの回収を行います）：友の会会員対象です。
- ・6～11月：第2土曜日 11：00～
写真チェック：どなたでも参加できます。

*どちらも事前申込は不要です。雨天の場合には、日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。

持ち物：水筒・汚れても良い服・歩きやすい靴・帽子。夏は白っぽい服で。その他必要な方は・タオルや着替え・昼食など

主催：友の会事務局内調査グループ・定点カメラで動物調査

●畑と作物を作ろう●

畑プロジェクトでは今年度から友の会の行事として、畑作りや作物作りを行いながら、みんなで自然と親しんでいきたいと思っています。

活動により生き物のあふれた畑の実現を目指します。

里山や畑に興味のある方はふるってご参加ください。

畑と作物を作ろう（8月を除く毎第3土曜日）

- | | | | |
|----------|-------------|------|----------------|
| 5月17日（土） | 10：00～12：00 | 雨天中止 | サツマイモを植え付と笹刈など |
| 6月21日（土） | 10：00～12：00 | 雨天中止 | ジャガイモの収穫と草刈など |
| 7月19日（土） | 10：00～12：00 | 雨天中止 | ニンジンの種蒔と草刈など |

をさしあたり予定しています。

- ・対象：どなたでも
- ・受付：自然観察センター前にて
- ・持ち物：飲料、長袖、長ズボン、帽子、手袋、タオル、昼食

担当：畑プロジェクト

★2014年度の担当レンジャーです。よろしくお願いします★

チーフ・全体統括担当

古南 幸弘 (こみなみ ゆきひろ) 事務局・PJ-STRIX・畑プロジェクト・森の絵本づくりの会 コーディネーター(c)担当

昨年度も友の会の皆さんのおかげで大変充実した活動を行うことができました。心よりお礼申し上げます。森の木々のように、年々成長していく観察の森になるよう、がんばります。

環境教育担当

瀧本 宏昭 (たきもと・ひろあき)

ハンミョウの会・自然とあそぼう c担当
瀧本ことタッキーです。イベントなどで、友の会の方々のスキルを一般の人に知ってもらえるような場をより多くしていきたいと考えています。

環境調査担当

掛下 尚一郎 (かけした・しょういちろう)

鳥のくらし発見隊・カワセミファンクラブ・定点カメラで動物調査・カエル調査隊 c担当

早いもので着任から 4 ヶ月が経ちました。森の中で迷子になる心配はほぼなくなりましたが、日々新鮮な出会いや発見の連続です。

いまの気持ちを大切に頑張ってます。



新人です 環境教育・広報担当

黒川 マリア (くろかわ・まりあ)

4月1日付で着任しました。愛知県名古屋出身です。前任地は豊田市自然観察の森です。今まで様々な土地に暮らしてきましたが、関東地方は初めてです。趣味はバードウォッチング、ハイキング、シュノーケリング、スポーツ観戦等です。日本野鳥の会に勤務して 2 年めの年を横浜自然観察の森で迎えられることを嬉しく思います。一日でも早く横浜自然観察の森のレンジャーとして一人前になれるよう努力しますので、どうぞよろしくお願い致します。

環境管理・CSR 担当

赤星 稔 (あかほし みのる)

雑木林ファンクラブ・野草の調査と保護グループ c担当

レンジャー 3 年めを迎えました。この 2 年で少しずつですが、自然と向き合うことができるようになったかな?と感じています。引き続きよろしくお願い致します。

環境教育・調査・管理補佐

齋藤 仁志 (さいとう・ひとし)

カワセミファンクラブ・鳥のくらし発見隊 c担当
今年度もお世話になります。昨年度よりも皆様がより活動しやすい環境になるよう精一杯努力したいと思います。まだまだ未熟者ですが、お付き合いいただけたら幸いです。



離任あいさつ **奥野展裕** (3月31日で退職。北海道に移住します)

着任の際、早く皆さんの顔と名前を覚え、また私も覚えてもらえるよう努力したいと申しました。在職中の 2 年間で、私自身が皆さんに覚えて頂けるような働きができたかどうかは分かりません。しかし、皆さんとの忘れられない充実した日々の思い出がいっぱいでき、感謝しています。

新天地では、時々そんな思い出に励まされ、頑張りたいと思っています。また、帰省の際には、観察の森をぜひ訪ねたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。2年間ありがとうございました。お元気で。

★**保全管理検討会**★ 桜林から「雑木林管理ゾーン」へ。「桜林の検討会」がパワーアップします!

第1回 5月10日(土) 13:00~15:00 研修室にて。

昨年度皆さんに参加していただいた「桜林保全管理実施計画」のモニタリング調査の実施や、「雑木林管理ゾーン」のその他の管理区(炭小屋うらのスギ林など)の実施計画、実行結果のチェックを行います。勉強会もあります。

(年6回)環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方、ぜひご出席ください。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は前日までに古南、赤星までご連絡ください。(こみなみ)



今年もやります! ~ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場~ サポーター募集!

◆日時: 6月14日(土)、21日(土)、28日(土) (雨天の場合は翌日)

今年もセンター行事「ゲンちゃん ハイちゃんの紙芝居劇場」で、ホテルの観察マナーを啓発します。1回の行事に200人~500人の方が来園されますので、行事をサポートして下さる方を募集します。様々な役割がありますので、是非ご協力をお願いいたします。

■イベント時間: 19:00~20:00 ■集合: 17時半 自然観察センター研修室 ■解散: 20時過ぎ

■持ち物: 軽い夜食・飲み物・長袖・長ズボン・運動靴

■雨天延期・中止の場合当日の担当レンジャーから連絡を入れさせていただきます。

■お力を貸していただける方は、レンジャー瀧本までご連絡ください! E-mail: takimoto@wbsj.org

★**アライグマ捕獲終了のご報告**★

前号やメーリングリスト等でお知らせしていましたが横浜市(環境創造局動物園課)によるアライグマの捕獲檻の設置は3月19日をもって終了し、3頭の成獣を捕獲する成果がありました。また関連して、「ハイケボタルの湿地」において産卵に来たヤマアカガエルを捕食する様子をレンジャーが確認しました。

これらの成果を一過性のもので終わらせないためにも市とも協議しながら今後も外来種対策の検討をしていきたいと思っています。

アカガエルの卵塊数やアライグマの目撃情報提供など友の会の皆さまにも引き続きご協力いただけると幸いです。(掛下)



ホランエイアサ

** 2/7~4/6 **

ありがとう

2/9 鳥のくらし発見隊の皆さん:雪かき

2/15 カワセミファンクラブ板垣さん:雪かき

2/19 雑木林ファンクラブの皆さん:雪折木の処理

3/1 保全管理懇談会にご出席いただいた皆さん:園内の環境管理の振り返りと来年度計画への意見

3/9 鳥のくらし発見隊の皆さん:にぎわいの森を歩くバーウォッチングのサポート

3/12 雑木林ファンクラブの皆さん:ベンチ修理

3/15 桜林の検討会にご出席いただいた皆さん:保全管理実施計画検討

2/7~4/6 カワセミファンクラブの皆さん 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供

2/7~4/6 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん 自然情報のご提供



行先 大久保香・黒川マリア

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●トンプ池を掘ろう →7ページ参照
5/11(日) 9:10～

対象：友の会会員(中学生以上限定)
集合：ゴロスケ館前 担当：カワセミファンクラブ

●森を守る作業体験「子供と遊ぼう会」

5/17(土) 9:00～14:00

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
持ち物：森で遊べるような服装、軍手、昼食
申込：必要。往復はがき、FAX、電話にて
担当：雑木林ファンクラブ →6ページ参照

●センター主催行事●

■【ホテル観察をご案内】「ゲンちゃん・ハイちゃん紙芝居劇場」【センター主催】

6/14(土) 6/21(土) 6/28(土)
19:00～20:00(雨天の場合は翌日に延期)
集合場所：自然観察センター前
【ボランティアさん募集は9ページをご覧ください】
担当：自然観察センター

■【新行事です！】親子でバードウォッチング【センター主催】

5/31(土) 10:00～12:30(雨天決行)
対象：小学生4・5・6年生とその保護者
申込：行事名、全員のお名前(小学生は年齢)、返信先を書いて、FAX、E-mail(yokohama-nc@wbsj.org)または往復はがきで自然観察センターまで。5/23×切
担当：自然観察センター

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～
6/15(日) 9:30～14:00
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも 雨天催行
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2014年4月20日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yms_tomo/

E-mail: yms_jimu@yahoo.co.jp

この会報は、友の会ボランティアによって作られています。
全頁無断転載を禁じます。

●定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

5/4(日)・6/1(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査 →7ページ参照

5/10(土)・6/14(土)

5～10月 9:30～ 現地調査：会員対象

6～11月 11:00～ 写真チェック：どなたでも参加できます

雨天の場合、日程を変更する可能性あり。自然観察センターに確認のこと。

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。

活動日：5～11月の毎月第2土曜日の午前中

担当：事務局内グループ・定点カメラで動物調査

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

5/11(日)・6/8(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

5/21(水)・6/18(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう →7ページ参照

～生き物にあふれた畑を目指して～

5/17(土) サツマイモの植付と笹刈

6/21(土) ジャガイモの収穫と草刈

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

4/26(土)・5/24(土)・6/28(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜